

やまがた

元氣



農の風

NO.44

山形県 川西町

JA山形おきたまアルストロメリア

振興部会長

おがた やすひろ

小形 泰弘 さん

年間を通じた生産・出荷に取り組む、置賜地区の「アルストロメリア」栽培のパイオニア



川西町

アルストロメリアの栽培をはじめめるきっかけ

をお聞かせください。

学生時代、長野県の実習先で栽培されていた花が「アルストロメリア」でした。

当時は、自分が花の栽培をするとは考えていませんでしたが、就農時に作物の選択で悩んでいたところ、実習先の「アルストロメリア」を思い出し、また、父の勧めもあり、平成3年に約200坪（ビニールハウス1棟）から「アルストロメリア」の栽培を始めました。

就農当時、山形県では「アルストロメリア」栽培は珍しく、置賜地区では自分が一番最初に取り組みました。当初は技術が未熟なため、栽培先進地（愛知県）に出向いて学んだり、また、学生時代の実習先から指導を仰いだり、大変苦労した思い出があります。現在は、先進技術を取り入れたり創意工夫をしながら、就農後20年で、約1,100坪（鉄骨ハウス2棟、ビニールハウス5棟）に規模拡大し、現在は自分の栽培に適した7品種を栽培しています。



丹精込めて育てたアルストロメリアと小形さん（小形さんニコニコ😊です）

アルストロメリア栽培の魅力をお聞かせください。

「アルストロメリア」は、栽培技術を確立すれば通年出荷が可能のため、年間を通して安定した収入を得ることが可能です。また、切り花の市場評価が高いことから、規模拡大を図れば「アルストロメリア」の生産だけで、経営が安定することが大きな魅力です。

また、花を愛する方であれば、花の美しさに魅了されながら作業が出来ることから「アルストロメリア」の栽培はお勧めです。



品種名：ゴールド

品種名：
ホワイトハート

今後の目標や夢をお聞かせください。

現在の規模を維持し、季節的な出荷のピークを作らず、年間を通して安定した収穫量を確保し、更なる収益増が目標です。そのためには、例えば、省力化のための管理の自動化や、収穫量確保のために、現在は「アルストロメリア」栽培に取り入れられていない「炭酸ガス施用」を挑戦したいと考えています。他にも、自分に取り組んでいない先進地の技術も積極的に取り入れていきたいと思っています。

一コマモ：
山形県のアルストロメリアの出荷量は、全国第3位！

アルストロメリア栽培ハウス外観

